

議事録

委員会名	第1回品川区消防団運営委員会
日時	令和6年2月7日（水）10時00分から11時00分まで
場所	品川区役所 第二庁舎4階 災害対策本部室
諮問事項	「変化する社会情勢に適応し、特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」
出席者	品川区長 森澤 恭子（委員長） 大井消防署長 島倉 宏明（委員長職務代理） 都議会議員 阿部 祐美子（委員） 区議会議員 おぎの あやか（委員） 区議会議員 せりざわ 裕次郎（委員） 区議会議員 松永 よしひろ（委員） 区議会議員 松本 ときひろ（委員） 区議会議員 ゆきた 政春（委員） 品川防火防災協会会長 金子 正秀（委員） 大井防火女性の会会長 小野 悦子（委員） 大井防火防災協会会長 懸田 幹夫（委員） 荏原防火防災協会副会長 越智 克巳（委員） 産業カウンセラー 小口 優子（委員） 品川消防署長 堀川 勝央（委員） 荏原消防署長 落合 博志（委員） 品川消防団長 平野 哲男（委員） 大井消防団長 武藤 俊三（委員） 荏原消防団長 高瀬 偉季雄（委員）
欠席者	石田 しんご（区議会議員）
傍聴者	なし
配布資料	次第、委員名簿、座席表、事前資料
審議内容	
事務局 （品川区）	（配布資料の確認） （「東京都情報公開条例」に基づく情報公開の説明） 1 開会 次第に沿い進行いたします。委員長あいさつをお願いいたします。

委員長	2 委員長あいさつ 今年度、「変化する社会情勢に適応し、特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」について、都知事からの諮問を受けました。本日の委員会では、現状と課題、そして今後の検討の方向性についてご検討をいただき、今後、計3回の審議を行い、品川区としての答申を決定したいと思います。限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見をいただきますようお願いを申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。														
事務局 (品川区)	3 新委員紹介 <table> <tr> <td>荏原防火防災協会副会長</td><td>越智 克巳</td></tr> <tr> <td>荏原消防署長</td><td>落合 博志</td></tr> <tr> <td>品川区議会議員</td><td>おぎの あやか</td></tr> <tr> <td>品川区議会議員</td><td>せりざわ 裕次郎</td></tr> <tr> <td>品川区議会議員</td><td>松永 よしひろ</td></tr> <tr> <td>品川区議会議員</td><td>ゆきた 政春</td></tr> <tr> <td>大井防火防災協会女性部会長</td><td>小野 悦子</td></tr> </table>	荏原防火防災協会副会長	越智 克巳	荏原消防署長	落合 博志	品川区議会議員	おぎの あやか	品川区議会議員	せりざわ 裕次郎	品川区議会議員	松永 よしひろ	品川区議会議員	ゆきた 政春	大井防火防災協会女性部会長	小野 悦子
荏原防火防災協会副会長	越智 克巳														
荏原消防署長	落合 博志														
品川区議会議員	おぎの あやか														
品川区議会議員	せりざわ 裕次郎														
品川区議会議員	松永 よしひろ														
品川区議会議員	ゆきた 政春														
大井防火防災協会女性部会長	小野 悦子														
委員長	(傍聴希望者の確認)傍聴希望者なし 4 議題(変化する社会情勢に適応し、特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか) 事務局から説明をお願いいたします。														
事務局 (消防署)	資料の説明														
事務局 (消防署)	続きまして、事前に収集した各委員からのご意見等を、50音順にご紹介させていただきます。まず、委員Aからのご意見です。資料5の「計画的な人材育成方策」に対して、「人材育成より人材の確保が重要である」というご意見をいただきました。こちらに関しましては、第2回品川区消防団運営委員会での、課題に対する「検討事項」の「組織の活性化方策」にて検討をさせていただきます。 次に、委員Bから4点のご意見です。1点目は、資料3の「実戦的訓練の実施方法」についてです。「各階級の役割を明確にすることは大いに賛成である。当該階級者が何らかの理由で不在の場合は、職位にとらわれることなく、適した人材を選定し、代理または補佐として任命することができる仕組みも検討すべきではないか」というご意見をいただきました。こちらに関しまして、消防署におきましても、上位の階級者に事故等があった際は下位の階級者が代行します。ですので、答申案としてご提案をさせていただきます。2点目は、資料5の「計画的な人材育成方策」についてです。「優秀な指導員となり得る人材の発掘と育成が急務である。明確な目的意識を持たせた上で、安全な操法														

や救助方法を身体が覚えるまで、何度も繰り返し、反復訓練を実施できる指導員が求められる」というご意見をいただきました。こちら、答申案としてご提案をさせていただきます。3点目は、資料6の「地域住民に消防団を知ってもらう方策」についてです。「消防団の存在や活動を知ってもらうためには、地域のニーズを調査・分析し、地域から求められることを実施していく必要がある。消防団として、地域に協力できることを検討し、実行することが大切である」というご意見をいただきました。こちらに関しましては、第2回品川区消防団運営委員会での、課題に対する「検討事項」の「組織の活性化方策」にて検討をさせていただきます。4点目は、資料3の「実戦的訓練の実施方法」での「訓練体制」についてです。「団本部の下に、新たに安全管理や訓練方法の企画立案、資機材の管理等を行う、専門の部署を設けることを提案する。また、長時間の救助活動への対応として、充電機を使用した高出力ハンマー等の救助用資機材の活用を提案する」というご意見をいただきました。こちらに関しまして、「団本部の下に、新たな専門部署を設ける」ということは、答申案としてご提案をさせていただきます。また、資機材の活用に関しましては、第2回品川区消防団運営委員会の課題、「各種資機材の仕様変更」のところで検討をさせていただきます。

次に、委員Cからのご意見です。資料7の「地域住民に消防団を知ってもらう方策」についてです。「大井第一地区の情報誌に、大井消防団の東京都消防操法大会での優勝記事を掲載する予定である。今後、地域活動の中で、消防団との協働を積極的に取り入れていきたいと考えている」という貴重なご提案をいただきました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

続きまして、委員Dから4点のご意見です。1点目は、資料3の「実戦的訓練の実施方法」についてです。「消防団の役割を自覚し、その役割を果たせるような訓練について検討する必要がある。また、消防操法大会は見直す必要がある」というご意見をいただきました。こちらに関しては、「資料4」の「3の(2)」のとおり、答申案としてご提案をさせていただきます。2点目は、資料5の「計画的な人材育成方策」についてです。「現役世代の活躍のためには、時間、場所、方法などを検討する必要がある。一人一人に合わせた研修が必要である」というご意見をいただきました。こちらに関しても、資料5のとおり、答申案としてご提案をさせていただきます。3点目は、資料6の「地域住民に消防団を知ってもらう方策」についてです。「祭礼やイベント等で警戒活動を実施しているが、そのような場で、町会の役員等地域住民と交流することも重要である」というご意見をいただきました。こちらに関しましては、答申案としてご提案をさせていただきます。4点目は、その他として「消防団本部等が整備されていない状況を改善したい」というご意見をいただきました。こちらに関しまして、消防団活動の拠点となる場所の確保は、重要であると考えております。ですので、答申案としてご提案をさせていただきます。

次に、委員Eからのご意見です。資料3及び資料4の、「実戦的訓練」と「安全管理」に対して、「消防団の各種訓練等による知識、技術、安全管理能力の

	向上」に関するご意見をいただきました。このご意見につきましては、本日の資料３及び資料４でご説明をさせていただいております。答申案として、ご提案をさせていただきます。以上が、事前にいただいたご意見のご紹介となります。最後に、委員Ｆから先ほどいただきましたご意見です。２点ございます。１点目は、「実戦的訓練の実施方法」に対して、「住民や社会のニーズを踏まえ、災害 対応や応急救護訓練の比重を上げた方がよい」というご意見をいただきました。２点目は、「計画的な人材育成方策」に対して、「消防団は公務の一端を担っており、オンライン等での基礎研修などが必要である。また、費用弁償、出場手当の拡充を検討 する必要がある」というご意見をいただきました。
事務局 (品川区)	説明の途中ですが、誠に申しわけございません。 委員長が公務により退席をさせていただきます。 <委員長退席> 以後の議事進行につきましては、委員長職務代理の大井消防署長、島倉宏明委員に行っていただきます。よろしくお願いいたします。
委員長 職務代理	それでは、説明を続けさせていただきます。 ただいま、委員Ｆからのご意見を、２点ご紹介させていただきました。いずれのご意見も、答申案としてご提案をさせていただきます。ありがとうございます。６名の委員の方からいただいた、ご意見のご紹介は以上となります。それでは、６名の委員からいただいたご意見に関すること、または委員の皆様からのご意見等はございますでしょうか。
委員 G	３点よろしいでしょうか。１点目は、私どもの町会では「区民消火隊」を組織していますが、この消火隊の人員 集めにも非常に苦勞をしているんです。初歩的なことになりますが、品川区の各消防団で、人数とか内容について現状は十分 足りているのでしょうか。２点目は、「インスタ」や「X（旧：T w i t t e r）」でいろいろと情報を出しているということですが、例えば、「インスタ」をずっとのぞいていると、品川区は約４０万人もいるのに「いいね」が四十数件だけと、私が個人的に流している「インスタ」のほうが、よほど見る人が多いんです。ですので、つくり方にも気を付けて、頑張っていかなければならないと思います。３点目は、実際の事例をうまくビジュアル化すること。今日の資料もご苦勞されたと思うんですが、ビジュアル化という点では、読んでいると頭が痛くなりそうな内容なので、もう少しビジュアル化する方法を、皆さんと考えられたほうが良いと思います。
委員長 職務代理	先ほど委員長が退席されたため、委員長代理を務めさせていただきます。ただいまのご質問について、事務局、お願いいたします。
事務局 (消防署)	現在の品川区の充足率は、「８９．１％」となっております。人数については、まず、「品川消防団」は「２４１名」です。ほかに、「大井消防団」は「１６８名」、「荏原消防団」は「２１５名」となっております。品川区消防団の定数は「７００名」ですので、充足率は「８９．１％」となっております。

委員長 職務代理	よろしいでしょうか。ほかに、ご意見やご質問等はございますでしょうか。
委員H	意見ということで、3点申し上げます。1点目ですが、資料4の(2)、「ア 消防操法大会の検討」です。今回は「消防操法大会を隔年で」という検討をされていますが、この「操法大会」というところで、都大会も含めて考えていただきたいのですが。例えば、私は荏原消防団に入っておりますが、荏原消防団が都大会に出る年に、操法大会がなくて、でも都大会のほうは、従来の操法大会と同じような形式となると、恐らく訓練が二重になってしまう可能性があります。ですので、これは、品川区の中の、消防団の訓練の在り方だけではなくて、都大会の在り方も考えていかなければならないと、まずは申し上げます。2点目ですが、資料5の2、「(2) 団員同士が進捗状況を共有できる媒体」です。それはとても素晴らしいことだと思うんですが、共有だけではなく、これに加えて「自分がどの程度できているのか、到達しているのか」ということを確認できるということが大事だと思います。その中で、例えば、新たに資格をつくるのかまでやると、恐らく予算などもかかってきますので、「防災士資格との連携ができれば、本当はいいのではないか」というようなご意見をいただくことがあります。こうした、既存の防災に関する資格などと連携をした取り組みも必要ではないかと思います。3点目ですが、資料6の「可搬ポンプ積載車の出場回数を増やす」についてです。これも大事なことだと思いますが、既存の操法大会との関係で、操法大会がどうしても積載車を使わない大会だとするならば、なかなか積載車を使った訓練というものを充実させるのも難しいと思います。ですので、ここも、「出場回数を増やす」ということのみならず、訓練の在り方も、積載車を使ったものを考えていくことが必要ではないかと思います。以上の3点、意見として申し上げさせていただきました。
委員長 職務代理	ありがとうございます。事務局から、何かご回答はございますか。
事務局 (消防署)	1点目の「消防操法大会」については、皆さんは消防団でもご活躍されている方ですので、どうしたらいいのかについても皆さんで検討していただきたいと思います。2点目の「媒体」についてですが、事務局としましても、どういうものができるのかを主管の消防団課等とも打ち合わせながら、「どういうものがあるか」や「どういう活用ができるのか」というのを、これから調べていかなければならないと思っております。あくまでも、今回は「こういうのがあればよろしいのではないのでしょうか」という提言です。3点目の、「積載車」については、各分団に積載車はあるんですが、出場率が確かに少ないです。やはり、あるものを有効に活用していくということが重要なことであると思います。延焼火災の現場に行くと、「団員の方は来てくれますが、積載車が来ていない」、「水を出す武器がない」という状況が続いていますので、やはり、操法大会等の訓練をある程度見直して、操法大会の中でも「積載車を活用した操法」というのも組み入れていけばよろしいのではないかと考えております。

	す。大井消防団では、一昨年に、可搬ポンプ積載車を活用した「消防操法大会」を実施しております。
委員長 職務代理	よろしいでしょうか。訓練の仕様につきましては、消防署と消防団のそれぞれの立場であったり、いろいろな団で状況も違うと思いますので、消防署もそれぞれ柔軟に対応しながら訓練を計画してまいりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。ほかに、ご意見等はございますか。
委員 F	まず、質問の提出が遅くなり、ご迷惑をおかけして申しわけございませんでした。その上で、2点言わせてください。1点目は、この会議の進め方ですが、多くのご多忙の方が出席されている中で、1時間という短い時間の半分以上を、事前に配られた資料の読み上げに費やしてしまうのは、もったいないと思います。むしろ、このように委員が顔を合わせることは、「ほかの委員の意見を聴いた中で、さらに自分の意見をまとめて発言していく」ということに、会議の目的があると思います。ですので、今後の進行は、ぜひともお考えいただければありがたいと思います。2点目は、ご意見が出ております操法大会についてです。確かに、操法大会にかける労力の比重がどうなのかについては、常々思うところでありまして、その在り方を見直していくことに異論はないんです。ですが、消防団におりますと、中心となって熱量を持って動いていらっしゃる方というのは、操法大会の存在に魅力を感じていたり、あるいは「大人の部活動」と位置付けていて、それがあから消防団で頑張ってやっているという方もいらっしゃるんです。そうすると、単に操法大会の頻度を低くするか、出場機会を少なくするということになる、そういう中心的な方々が消防団に魅力を感じなくなってしまうと、それはそれで、今後の運営にマイナスとなってしまうことがあり得るかなと。ですので、見直すのであれば、別の魅力をセットで考えていかないと、この部分は少し慎重にしなければいけないと感じております。中心的にやっていらっしゃる方というのは、何かあったときの出場が多いんです。そういう意味では、出場手当や報酬なども合わせて見直していくことによって、モチベーションの高い方々の役割が明確になるかと。実際にそういう声もちらほら伺いますので、ぜひそうしたことも合わせてご検討をいただければと思います。諮問の検討から外れるかもしれませんが、ぜひよろしくお願いいたします。
委員長 職務代理	どうもありがとうございました。今のご意見について、事務局から、何かございますか。よろしいですか。資料や会議の進め方は、検討をさせていただきます。手当等の件につきましては、違う形で、団課を通して申入れをしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
委員 I	うちのほうも、消防団に町会から若い方が入ってくれたと思います。すごく町会としては嬉しく思っています。これは提案ですが、12月の「区内一斉防災訓練」のときに、消防団の方も忙しいとは思いますが、ホースでの放水をやっていただきたいと思うんです。町会は5町会ですが、いろいろなものを見ますと、消防団に対する考え方もまた違ってくると思います。本当にお忙しいと

	は思いますが、もしよかったらお願いいたします。
委員長 職務代理	ありがとうございました。要望として、消防署と消防団で連携して、町の方にもご理解いただけるような形で訓練を進めさせていただきますので、どうぞご理解ください。よろしくお願いいたします。ほかに、いかがでしょうか。
委員 J	区議として、また区民としても、日々の活動を非常に頼もしく拝見させていただいております。私からは、資料 6 の「地域住民に消防団を知ってもらう方策」についてです。働いている方も多いので、土日や平日の夜などに主に活動されていると思いますが、例えば、夜に大井第一小学校のグラウンドで練習をされていたりして、地域の方も、「何かしているな」と気にはされているんですが、あとから「消防団の練習だったんだ」と知ったということが、私の周りでもあります。ですので、ぜひ練習をしていることも、地域の方に知っていただくということで、例えば、練習中に「大井消防団〇〇分団 消防訓練中 見学自由 団員募集中」と書いた看板を出して、その横に募集のリーフレットを置いたりとかして、普段の練習、訓練のときからも、地域の方と近い関係を保ったらいיןではないかと思って、意見させていただきました。よろしくお願いいたします。
委員長 職務代理	貴重なご意見をどうもありがとうございます。今のご提案については、我々のほうでも、消防団と協力して掲示できるように頑張ってみます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、そろそろ時間となりましたので、ご意見等がなければ、以上で本日の審議を終了いたします。事務局へ進行をお返しいたします。
事務局 (品川区)	議事進行をありがとうございました。 次回の委員会ですが、8 月頃を予定しております。よろしくお願いいたします。以上をもちまして第 1 回品川区消防団運営委員会を閉会いたします。大変お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。